

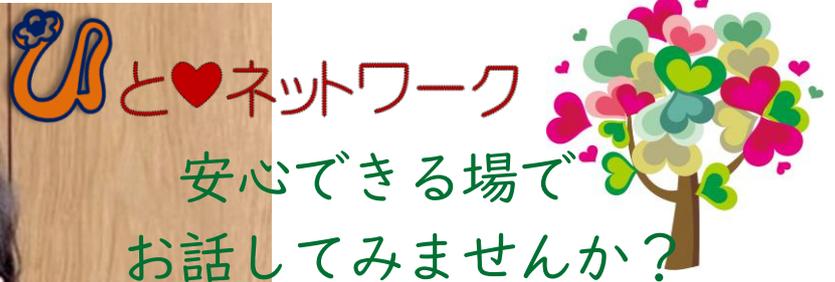
公民館
通信

No.323
2026.2 発行

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



入れざるを得ない時代。あまりの衝撃。大きな喪失感。家族のバランスが崩れ、非を認めない医師の態度に苛立ったが、人生の土台をこれほど揺るがす死別の悲嘆について考えたいとも思った。

当時はグリーフケアという言葉もなく、たった一つの救いは葬儀会社の担当者が丁寧に話を聞いてくれたことだった。その方とは葬儀後も文通が続いた。やり取りを通じて言葉にできなかった思いと向き合い、整理をつけていった。だが喪失感や自責の念、悲しみはそのまま今も残る。

その後、上智大学大学院で自死遺族からの聞き取りに基づく死生学的研究を深め、博士学位を取得した。現在は上智大学グリーフケア研究所で客員研究員を務める傍ら、教育や医療の現場で心理支援も行っている。

グリーフケアを考えることとは「亡くなってから死や死者を考えること」に限定されず、「亡くなる前から身近な人々と共に生きる意味を考えること」。だから目の前におられる方の存在そのものを受け止め、その方を分かりたい、寄り添いたいと願う。

第4日曜午前中は死因を問わない「わかち合いの集い」を開く。悲嘆の中にある者同士がつながり、悲しみや寂しさ、言葉にならない思いなどを分かち合う。「少しの間、心の重荷をおろしていただければ」と今日も傾聴する。

グリーフサポートたま

代表 笥 智子 さん

グリーフとは、深い悲しみ。大切な人を失ったとき、心と体に変化をもたらす喪失感。そうした重荷を抱える方々に寄り添いたいと、一昨年4月「グリーフサポートたま」を設立した。島藺進東京大学名誉教授を顧問とし、主に上智大学大学院や上智大学グリーフケア研究所で傾聴を学んだ者、ケアの現場を持つ者などがメンバーだ。団体独自の活動に加え、昨年4月からは自死遺族を対象とする「日野市・多摩市わかち合いの会」を毎月第4日曜午後に開催する。また年に2回、当事者・支援者を問わない自死遺族支援のための講演会を開催している。

活動のきっかけは父親の突然の死。父親は医療ミスが原因で、若くして亡くなった。当時は受け



「あなたの・わたしの昭和」



公民館通信320号で募集した『昭和といえば「これ』』について、アンケートにご回答いただきました。お寄せ頂いた中から、声を紹介します。

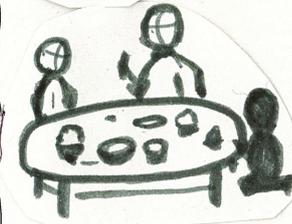
音楽を通して、子どもの頃育った風景、その頃のお菓子、テレビ番組やコマーシャル、それぞれの方がしみじみと感じた、そして私たちに、その時代を思い起こさせる『昭和』の思い出詰まった声をいただきました。

- ① ピンクレディー、キャンディーズ、ももえちゃん(山口百恵)、ヒデキ(西城秀樹)なんといってもバンドブーム。ユニコーンの大ファン。今年はVo.奥田民生60才祝還暦！戦争を忘れてはいけません！！



- ③ 出生が昭和20年9月。昭和38年「高校三年生」と言う歌が流行した時代でした。映画「潮騒」久保明と青山京子、伊藤久男「あざみの歌」(兄が好きで唄っていた)、林伊佐緒「高原の宿」(詩が良くて好きです)、菊池章子「星の流れに」「反戦歌」「春の舞妓」(出だしがきれいで大好きです)。

- ② 私は昭和15年生まれで父が職業軍人だったので横須賀市の軍港の近くの借家に住んでいました。戦争で町に近い所に爆弾が落ちその時に使ったと思われるタンカが血の付いたまま近くの壁に立て掛けてあったりで危険が迫って来たので母の実家に疎開しました。近所で遊んでいるといつも近くのおばさんが遊びに行くたびに色々な食べ物をくれました。その後、おばさんの養子となり東京浅草で小学校6年間を過ごし、その後一時宮城に行ったりしました。東京の高校受験するため中2の時、東京に戻り志望校に入学出来ました。色々ありました。



- ④ ピンクレディー、キャンディーズはどの曲も歌って踊りました。聖子ちゃん、明菜ちゃんも。渡辺謙の鬼気迫る演技は秀逸でした。大河ドラマとか。「すべり台で鬼ごっこ」は定番のなつかしい遊びでした。山、畑でトンボ、セミ採り。自然が一杯あった。



- ⑤ もの心ついた頃、家は6帖一間の父の会社の寮。朝食は布団をたたんで丸いちゃぶ台で納豆、みそ汁、ごはん。こんな感じかな？小学3年生くらいになると冷蔵庫が来て、氷が家で作れるなんてすごいことでした。テレビではカルビーのカップえびせん、湖池屋のポテトチップスコマーシャルが盛んでした。中村錦之助さんが出演している映画が大好きでした。大五郎という子役の方、どうしているかしら？昭和懐かしい！

- ⑦ ドリフターズが好きだった。「8時だヨ！全員集合」はよく家族で見ていた。昭和のコントが懐かしい。

- ⑧ 中学生の時は小遣いをためてよく映画をみた。学校にはこっそりと。青い山脈を観て、胸がときめきました。新しい時代がくると思っていたけれど、ハテ？今どうして逆戻り?!

- ⑥ 調布国領町に父母弟と私4人家族で住んでいた社宅は京王線と甲州街道に挟まれているところでした。周りは里芋畑や大きな木がありました。社宅の目の前の空き地には京王線の枕木が山のように積んであり、登ったり、下ったり近所の子ども集団で遊んでいました。子どもが自由に遊べる場所がたくさんありましたね。

昭和の思い出

レコード鑑賞サロン

昭和♪を公民館で一緒に振り返りましょう！どなたでもご来場ください。

鑑賞会の日程は①1月30日(金)
②2月26日(木) ③3月20日(金)
どなたでも鑑賞できます。13~15時

◆平成世代にも、昭和歌謡のブームが

2025年は昭和で数えると100年目の節目の年。その節目の年に、平成世代へ昭和歌謡が歌いつながれているようです。昭和歌謡ブームは今日、昨日に始まったものではないと言われています。まさに昭和歌謡は、昭和の時代を映し出す、「歌は世に連れ・・・世は歌に連れ・・・」と、名セリフで始まったように昭和歌謡の歌には時代の流れを醸し出し、昭和世代とともに、激動の時代を生きてきたまさに不滅の名曲ばかりで歌い継がれているのでしょう。そんな昭和歌謡の魅力は、何ととっても歌詞が聞き取りやすく歌いやすいこと。その時代を生きた自分が一瞬で甦り、タイムスリップしていく。そんな感覚をぜひ一緒にホールで体験してみませんか？そしてあなたの昭和時代を聞かせてください。

映画を通したまちづくり <TAMA CINEMA FORUM 第35回映画祭>



©2025 TCF

*写真はTAMA映画祭実行委員会提供

11月15日(土)に行なわれた第17回 TAMA 映画賞授賞式に潜入した。ゲストには、最優秀作品賞「国宝」の李相日監督、「ルノワール」の早川千絵監督、最優秀男優賞・吉沢亮さん長塚京三さん、最優秀女優賞・広瀬すずさん他、最優秀新進監督賞や最優秀新進男優賞、最優秀新進女優賞など受賞した豪華なメンバーが並ぶ。画面でしか会えなかった人たちと、同じ会場で同じ空気を吸ってることに何だかドキドキした。

多摩市制20周年を記念し1991年に始まった「TAMA CINEMA FORUM」は、映画ファンを



中心とした市民ボランティアが作る映画祭。今年35周年を迎え、

秋の映画祭では17日間約60作品が上映された。個人的には、ファミリーデーに子供たちと何年も通ったことが思い出だが、話題の「国宝」がきっかけで、「TAMA CINEMA FORUM」を振り返ってみた。26回目の<TAMA NEW WAVE>は、



今や新人監督登竜門。17回目を迎えた、映画ファンの立場から感謝を込めて、イキのいい作品・監督・俳優を表彰する<TAMA 映画賞>は、日本一早い映画賞として注目されるように。改めて過去を遡ると、最優秀賞を受賞した10人以上の男優・女優が、かつて新進賞も受賞している。多くのゲストが揃うのは、映画祭として評価されている証しと言えよう。

幅広い年齢層のボランティアは約80名。企画・交渉など準備に1年かけ、映画祭期間は応援団「多摩シネマ隊」協力のもと乗り切るという。映画ファンの熱い情熱で育て上げた映画祭。力強い団結と知恵に脱帽し、多摩市の顔、多摩市の宝だと実感した。今後の益々の発展を祈ります! (月)



印刷サービス 原紙代=原稿 1 枚 40 円、インク代=紙 1 枚 0.3 円 (印刷用紙はご利用者が持参してください)
コピーサービス 1 枚 10 円 (白黒) 9:00~22:00 (休館日、年末年始を除く)

文庫連会員がお勧めする本

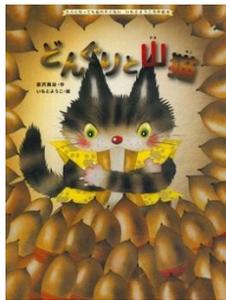
『やとのいえ』 八尾 慶次／作 偕成社



「やと(谷戸)」とは、なだらかな丘にはさまれた浅い谷のことです。この本はそんな谷戸に暮らすある一家の、明治初期から平成までの約150年を、道端の羅漢さんと共に

見つめていきます。中でも多くのページを割くのは昭和の暮らしです。変遷する農村の様子、お祭り、結婚式、お葬式。あの頃のお葬式って、こんなふうだったなあと懐かしくなります。そして時は進みニュータウン開発の波が。そう、この絵本の絵は、多摩ニュータウンをモデルに描かれているのです。

コアラ文庫 高橋祥子

『どんぐりと山猫』 宮沢 賢治／作
いもと ようこ／絵 金の星社

私は読書家ではありませんが一つだけ自分で決めていることがあります。それは季節ごとに読みたい本と出会うことです。この一冊もそうです。深まる秋の日にページをめくる時が幸せのときです。しかも数ある出会った本の中でも特に好きな作品です。

一郎少年に届いた一通の手紙で始まる物語です。大陪審の山猫が解決できずにいた難題、森で一番偉いどんぐりは一体誰か?との問い(いまで言えば〇〇ファーストかな)に一郎少年の答えは……。

一人一人を大切にすることや弱い立場の人に寄り添うことを教えられる一冊です。

いきがい文庫 高橋和彦

コラム え・と・せ・と・ら

パラオ編が完結したので、今回は私の心が動く“歴史”について語ります。

唐突ですが、皆さんの好きな“歴史”は?世界史、日本史。新選組、はたまた平安?!毎年大河や朝ドラも盛り上がりを見せる。色んな時代の暮らしに胸をときめかせる中、特段私の心を掴んで離さないのが『明治時代～昭和初期の和洋折衷文化』である。着物と洋装が入り乱れ、ヘアスタイルや生活様式が様変わり。ハイカラなるものが流行し、キネマや文豪による小説が盛り上がる。どんどんと変わりゆく世界を、当時を生きていた人々はどう見ていたのか。

この時代は建物も見ごたえがある。都内にはいくつかの旧〇〇邸が存在しているが、どれも何度も足を運ぶほどのファンである。洋館だけをとっても壁紙、天井、床、ドアノブ、暖炉、大階段の手すり、どれを見ても装飾が美しい。部屋ごとに違う装飾があり、手の込みように感服する。補修など



旧岩崎邸

あれど、当時の職人が考え作ったものが現存していることは非常に素晴らしいことである。和館や庭園も趣深く、戦争により消失していなければどんなに良かったか、と思わずにはいられない。

“歴史”から息吹を感じることにロマン。できることならタイムスリップして見てみたいと思うが、できないのでこういった建造物や映像作品・小説で心を躍らせるのだ。(あ)

編集後記

☆休日にはサーターアンダギー作って、家族で



カラー版はこちらから

「ゆんたく」おしゃべり会。恒例◎(ぼ) ☆昭和歌謡♪を事業で体感♡昭和歌謡の魅力満載なひと時にタイムスリップした。たまには日常から離れてこんな時も大切。(は)

☆皆さんの学びたいことは何ですか? 公民館へのご意見お待ちしております! (あ)

☆車止めに蹴つまずいて救急。首に内出血、靭帯、神経損傷、ヒビの跡。神経って怖いね。両腕、ありえない激痛が。(楽) ☆「国宝」「ベリリユ」観て感動!(月)

- ファイト!
-
- た いへんな今
 - の んびりしたい今
 - し しんみり泣きたい今
 - い まこそ!
 - ま んめんの笑みで
 - ち えとチカラを湧かせるのだ